

白石中学校区 小中一貫した教育 グランドデザイン 小中一貫した教育推進構造図

札幌市「小中一貫した教育」目標  
「自立した札幌人」の実現に向け、義務教育段階において「知・徳・体の調和のとれた育ち」の一層の充実を図る

9年間を通した子どもの学びのつながり

子ども理解・生徒指導の連続性

4つの視点

教職員の連携・協働

家庭や地域との関わり

課題探究的な学習

2つの柱

発達の段階に応じた継続的な子ども理解

目指す子供像

未来

社会を生き抜く力と社会に生かす力をもった子ども

拓く

白石中学校

連携

学校教育目標	生徒の目標
自ら学び 自分を高める生徒の育成	自ら学び 自分を高める生徒の育成
共に生き 自分を広げる生徒の育成	共に生き 自分を広げよう
豊かな心と思いやりをもつ生徒の育成	豊かな心と思いやりをもとう
たくましく頑張りぬく生徒の育成	たくましく 頑張りぬこう

学ぶ力

- 「分かる・できる・楽しい」授業～課題探究的な学習(主体的・対話的で深い学び)をしっかりと教え、考えさせる授業の創造に努める。
- 本校の特色を盛り込んだ教育課程の編成をより一層工夫し、発達の段階に応じた学ぶ力の育成に努める。
  - 生徒の資質・能力・興味・関心に合わせて、学ぶ意欲の向上に努める。
  - 生徒が自ら考え、判断し、表現する場面を系統的・横断的に取り入れる。
  - 生徒の実態に合わせて、指導方法や指導形態の工夫・改善を図る。
  - I C Tを活用した教育の推進を図る。(情報教育)
  - 生徒の学ぶ意欲や能力を適切に評価する。

「豊かな心」・「健やかな体」の育成～生徒支援と生徒活動の一体化

チーム白石で組織対応

■子ども自身が自らを変容できる力の育成に努める。未然防止と初期対応を重視する。

- 基本的な生活習慣の定着・向上に向けた取組を効果的に行う。
- 命を大切にしている指導、思いやりの心を育む指導を計画的に行う。
- 生徒の問題行動や悩みへの早期発見と予防対策を目的に適切な相談、支援を行う。
- 行事や日常の活動を通して生徒の自主的・自発的な姿勢を伸ばさせる。
- 本校の伝統「挨拶・行事・平和、そして合唱」と精神「自分のためではなく、誰かのために」を大切にしながら活動を支援する。
- 特別な配慮を必要とする生徒への支援の充実を図る。(特別支援教育・不登校生徒支援・LGBTの理解とその配慮等)

豊かな心

健やかな体

南郷小学校

南白石小学校

学校教育目標
考える子ども
力を合わせる子ども
正しい子ども
強い子ども
豊かな心の子ども

学校教育目標	
明るく じょうぶな子	健康で たくましい心身の育成
正しく やりぬく子	正しい判断と 強靱な意志の育成
仲良く 助け合う子	心のふれあいを豊かにする 情操の育成
深く 考える子	自ら学ぶ態度と 創造的な思考力の育成

学ぶ力

- 一人一人が自分への自信につなげる「分かる・できる・楽しい」授業の実現
- 学習集団づくりに資する研修の充実
- I C Tの活用をはじめとした教育環境の整備による学習活動の充実
- 体験的な学習や対面授業の再評価とそれらの効果的な活用

豊かな心

- 笑顔を生み出す生活習慣の定着(挨拶・返事・言葉遣い)
- 自覚と自律を促す指導による規範意識の定着
- 命を大切にしている指導の充実(道徳教育、生命尊重、いじめ防止、教育相談)
- 読書活動の推進(朝読書、図書館運営)

健やかな体

- 積極的に心身の健康の保持増進を図る資質や能力の育成(感染症対策)
- 運動機会の充実を図る環境整備(グラウンド・体育館・なかよしホール)
- 教科体育の工夫・改善
- 食育の推進
- 性に関する指導の充実(多様性の尊重)

学ぶ力

- 〇「もっと〇〇したい。」を引き出す学習展開の工夫による児童の学ぶ意欲を喚起
- 〇自信につながり、基礎基本の確実な定着を図る手立てを講じる～T T T・少人数指導の充実 I C T機器の有効活用
- 〇「自分の考えと違う」「多様な考え」を大切に授業～学び合い・分かち合い・認め合う学習づくり
- 〇「聞き方あいうえお」「話し方きくけこ」を基盤に「話し合い上手」を目指すための整備された言語教育環境
- 〇家庭学習につながる授業の工夫～「ぐんぐん家庭学習」の定着、さらなる充実
- 〇6年間の積み上げを大切にする取組～基本的学習習慣・学び方の定着

豊かな心

- 一人一人の個性を高め、命を尊び、健康で明るく、自らを振り回しながら積極的に行動できる子を育成する。
- 相手を思いやり、人権を尊重し、協力して行動できる子を育成する。
- 公徳心をもって約束やきまりを守って生活し、自らよりよい生き方を目指そうとする子を育成する。
- 自然と人間の命のつながりを感じ、崇高なものへの憧れと畏敬の念をもった子を育成する。

健やかな体

- 〇体力テストの有効活用。(児童一人自己評価、自己の体力向上へのあてづくり 体育活動→「瞬発力や走力など」の向上を意図した運動の実践)
- 〇体育学習の準備運動を全学年で共通に実施し、通年で継続する。(みなしる体操・なわび運動の充実)
- 〇発達段階、系統性を意識した体育学習の充実を図る。(マツ運動週間、跳び箱運動週間・学習カードの整備・体育館掲示物等)
- 〇休み時間の体育館・グラウンド遊びを活性化。(ドッジボールコート、サッカーゴール、50m走トラック等の設置・用具の貸し出し等)

ハイ  
イ  
期

ミ  
ド  
ル  
期

ジ  
ュ  
ニ  
ア  
期

9  
中  
3

8  
中  
2

7  
中  
1

6  
小

5  
小

4  
小

3  
小

2  
小

1  
小

接  
続  
期

